平成30年産　玄米・小麦粉の残留農薬・カドミウムの分析結果総括

１. 分析依頼先　　Eurofins Scientific 社

２. 分析依頼日(検体送付日)　　平成31年1月15日

３. 分析日　　平成31年1月28日～2月7日

４. 分析方法・検体数・検出限界

項目	試料	検体数	項目数	分析方法	検出限界(mg/kg:ppm)
残留農薬	玄米 小麦粉	23 2	235	GC-MS/MS [1)] LC-MS/MS[2)]	0.01（全項目）
カドミウム	玄米	23	-----	ICP-MS[3)]	0.01

[1)]GC-MSとは Gas Chromatography(ガスクロマトグラフィー分析法)－Mass Spectrometry(質量分析法)/Mass Spectrometry(質量分析法)の略です。
[2)] LC-MS/MSとは Liquid Chromatography(液体クロマトグラフィー分析法)－Mass Spectrometry(質量分析法)/Mass Spectrometry(質量分析法)の略です。
[3)]ICP-MS とは Inductively Coupled Plasma（誘導結合プラズマ分析法）/ Mass Spectrometry(質量分析法)の略です。

５．検査結果

(1) 残留農薬検査

検査を実施した２５検体の残留農薬２３５種類は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。

(2) カドミウム検査

検査を実施した２３検体は、すべて厚生労働省の基準値以下でした。

６．判定

問題はないと考えられます。

分析値の詳細は、当会食品検査室にお問い合わせください。